



<https://www.tutitokaze.com/>

<https://www.instagram.com/koedofarm/>

2020.11.25号



親子で畑で遊ぼう！

第8回 11/14

雲一つない青空、降りそそぐ暖かな太陽の光。こえどファーム名物の北風の洗礼は受けたけど、この日は最高の畑日和。他では絶対に味わえないいもほりを楽しみました。何が絶対かって？

サツマイモは水はけがよくて、サラサラでふわふわの畑が大好き。川越なら今福や福原の畑。こえどファームは水はけが悪くて雨が降るとグチャグチャ、乾くとカチカチ。サツマを育てるにはちょっと厳しい畑。今年はカチカチ、グチャグチャ、カチカチ、グチャグチャを繰り返し、この日はシャベルが曲がるほどのカッチカチ。雨がほとんど降らなかった8月に水を求めて根が土深く伸びたのでイモは下へ下へと続き、いもほりというよりは、いも遺跡発掘って感じになったってわけ。いくら固い土のこえどファームとはいえ、普通なら一人で何株も掘れるのに、一株掘り上げるのが精いっぱいの子もいるほどの悪戦苦闘のいもほりに。しかも掘り上げたサツマはゴツゴツ、グネグネ、シワシワ…。想像を超えたサツマに一同ビックリ。でも鮮やかな紅色でいかにも美味しそうなおイモがたくさん掘れたので、めでたしめでたし。



※サツマの話はウラ面へ

お昼を食べたあとは、二手に分かれてブルーベリーパフェづくりと収穫したサツマイモの仕分け。パフェづくりと言っても、用意した透明なカップにコーンフレーク、ヨーグルト、アイスクリーム、ブルーベリージャムを順番に入れるだけ。でも、70個も一度に作るのだから、それぞれの係に分かれてつくりました。協力し合ってきたのでアイスが溶ける前に無事作り終えました。今シーズン初のクッキング&デザートタイム。コロナで制約も多いけど、来月は何を食べようか？

いつもはスタッフがしている仕分け作業。今回は子どもたちにも参加してもらいました。大きいものあり、小さいものあり、曲がったものあり、傷ついたものあり……。同じように分けられるかな？大人でも上手に分けられるようになるまで時間がかかるのに、すぐにコツをつかんだようです。次もお願いしよう！



最後は、パンジーの植え付け。今年もフマキラ一さんから世界で最大級の花を咲かせるパンジー「ボニータ」を200鉢も頂いたので、ヒマワリ畑に沿って植えてみました。冬のパンジーと夏のヒマワリと一緒に見られるなんて…。こえどファームってなんとも不思議な畑ですよ！



次回はホウレンソウやダイコンなど冬野菜の収穫をします。その他に何をしようかな？お楽しみに！

親子で畑で遊ぼう！ 第8回

12月12日(土) 10:00~14:00

冬野菜の収穫ほか

持ち物：帽子、手袋、長靴、タオル、飲み物、昼食
食器、ハサミ、Myバックほか

畑をみんなで楽しもう！

サツマイモはずっとずっと遠い昔メキシコを中心とする熱帯アメリカで生まれました。15世紀の終わりにコロンブスがアメリカから持ちかえり、ヨーロッパへ伝わりました。でも、涼しすぎて気候が合わなかったため、ヨーロッパではあまり作られず、暖かいアフリカやインド、東南アジアの植民地に持ち込まれ、作られるようになりました。その後、中国に伝わり、日本へは琉球（今の沖縄）を経て、江戸時代の初めごろに、薩摩（今の鹿児島）に伝わったと言われていました。薩摩に伝わったのでサツマイモと呼ばれていますが、鹿児島では琉球イモ、沖縄では唐イモと呼ぶようです。伝来した当初は九州でしか栽培されていなかったサツマイモですが、飢饉を救うための食料として八代将軍徳川吉宗の命を受けて、蘭学者の青木昆陽によって関東に広められました。川越いもが初めて栽培されたのは、1700年中頃の南永井村（今の所沢市南永井。川越藩領は今の新座くらいまで）ここには栽培が始まったのを記念して「サツマイモ始作地の碑」が建っています。川越いもは、味はさることながら江戸と新河岸川で結ばれていたことから、重いサツマイモを船で江戸へたくさん出荷できたので一大産地となりました。現在、一番多くサツマイモを作っているのは鹿児島県、続いて茨城県。第三位が千葉県で、宮崎、徳島、熊本、静岡、大分、高知と続き10位にやっと埼玉が登場します。川越のサツマイモは超有名でも、生産量は多くないのが現在のサツマイモ事情です。

畑でハーブを育てよう！

収穫祭日和のお天気のもと、銅職人が打ち出した美しい蒸留器を子どもたちにも見てもらいたい…と栗林で芳香蒸留水作りの予定です。しかし強風に煽られコンロの火が安定しないので、急遽いつもの四阿前での作業に切り替えました。蒸留器の組み立てとハーブの刈り取りのふたチームに分かれ効率アップ。中に入れるのは水とレモングラスとティーツリーのブレンド。蒸留器の接合部には濡れ布巾とアルミホイルの重ね巻きを試してみましたが蒸気漏れが気になり、小麦粉を水で練ったものを貼り付ける方法に方向転換。予定通りに行かずとも上手く対処しつつ、蒸気が上がるまでの間来年度の講座予定を決めました。蒸気が上がり始めると冷却槽の水があつという間にお湯に！槽のお湯を水に入れ替えて蒸気を冷やして…を繰り返す、待望の蒸留水が良い香りとともに始まります。蒸留水の色も始めと終わりでは変化し、上にはうっすら精油が浮いています。忙しい作業もチームワークで凌ぎ、掘り上げたレモングラスの冬の管理方法や来月の予定など余念がありません。1人40mlほどの貴重な蒸留水は各自持ち帰り、何に活用するかはお楽しみです。（新居）



畑でハーブを育てよう！

11月14日（土）10:00～12:00

管理作業

持ち物：帽子、手袋、長靴、マスク、飲み物

12月のこえどファーム

日	月	火	水	木	金	土
		1 畑をみんなで楽しもう	2	3	4 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	5
6	7	8 畑をみんなで楽しもう	9	10 	11 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	12 親子で畑で遊ぼう 畑のハーブを育てよう
13	14 	15 畑をみんなで楽しもう	16	17	18 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	19 順延日
20	21	22 畑をみんなで楽しもう	23	24	25 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	26
27	28	29	30	31		

◆編集なんてしてないけど編集後記◆

川越駅西口に今年オープンした U_PLASE。イルミネーションが点きました。ホワイトとブルーのシンプルなイルミ。小生、花壇部分の飾り付けを担当したので、どうぞご覧あれ。（ま）

発行 特定非営利活動法人 土と風の舎

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 6-14-10

TEL.049-248-9485 FAX.049-248-9486

E-mail.tutitokaze@arion.ocn.ne.jp